

7/26～7/30

7/26 来町

交 流 事 業



昨年、正式にさぬき市と友好都市提携を盟約し、今年で21回目になるさぬき市交流事業が、7月26日から7月30日の5日間、さぬき市の小学5・6年生47名が剣淵町の小学5・6年生と交流しました。さまざまな体験をした交流事業の内容は次のとおりです。

7月26日

午後8時過ぎ、香川県さぬき市立富田、石田、長尾、造田、松尾、志度、中央、鴨部、神前小学校の5・6年生と引率団がレークサイド桜岡に到着しました。

到着してまもなく、さぬき市児童・引率団を歓迎する到着歓迎式が行われ、佐々木町長からは、「剣淵町へようこそお越しいただきました。剣淵町との子どもたちと交流しつつ、たくさんのお体験をしていただきたい。」と述べられました。また、さぬき市教育委員会の六車さんからは、「剣淵町との交流はと

ても長く続いている。これからもこの交流が長く続くことを祈っています。」と述べられました。

7月27日

午前9時30分、町民センター1階大集会室で、さぬき市児童と剣淵町児童の対面式・歓迎集会が行われました。

さぬき市・剣淵町それぞれの6年生は1年ぶりの再会に喜び、5年生は初めての対面で少し緊張した様子でしたが、時間が経つにつれて、笑顔がたくさん出てきました。

対面式・歓迎集会の後は、各班に分かれて旭山動物園を訪問し、たくさんのお動物と触れ合い、両児童ともヘトヘトになるまで満喫していました。

その後、町民センター1階大集会室に戻り、ホームステイ受け入れ式が行われ、さぬき市児童は各ホームステイ先へと向かいました。

7月28日

午前10時、絵本の館・資料館見学が行われました。見学は、班行動で行われ、主に剣淵町の児童が中心となり、さぬき市の児童を案



また会える日まで・・・

さぬき市

内して周り、絵本の館で絵本を読み、屯田兵屋や資料館の中で昔の家具等を見学しました。

午後からは、5年生と6年生で各2つに分かれ、それぞれアルパカ牧場と桜岡公園へ向かいました。アルパカ牧場では、山登りをしながら山道の途中にあるクイズを解き、頂上の小屋を目指しました。

児童は、夢中になりながらクイズを解いて山を登り、山頂にある小屋で風に涼みながら、アイスクリームを食べました。

桜岡湖ではカヌーとパークゴルフ体験を行いました。児童は、指導員の方に教わりながら、初めて乗るカヌーやパークゴルフを楽しむ、和気あいあいとした様子で交流をしていました。



7月29日

7月29日は、各ホームステイ先の家族と北海道体験が行われました。さぬき市児童は、アイスパビリオン等道内の観光名所を訪れ、香川県にはない、北海道独自の魅力をたくさん見つけることができました。

7月30日

午前6時30分、町民センター1階大集会室にて、離町式が行われました。

5日間の滞在期間も終わり、さぬき市児童のみなさんとお別れの時がきてしまい、「元気でね。また会おうね。」等別れを惜しむ言葉が飛び交い、剣淵町の児童は寂しそうです。さぬき市の児童から、

剣淵町に来た感想を聞くと、「良い経験になりました。ありがとうございました。」と笑顔で答えてくれました。

7月26日～30日の5日間で行われたさぬき市交流事業も、たくさん関係者のみなさんのおかげで無事終えることができ、子どもたちはたくさん夏の思い出を作ることができたと思います。

6年生のみなさんは、また会えることを祈って・・・

5年生のみなさんは、また来年お会いしましょう！！

